

読書会テキスト 下重暁子著 ”老人をなめるな“

報告者 深堀博義（40 商卒）

◇はじめに

私は昨年 80 歳を超えたが、これまでを振り返るよりも「とうとうここまで来たか、やっどこまで来たか」という感慨と「自分一人だけでなく周りの方々のお陰でここまで生きた」事への感謝の気持ちが強かった。さて、これからどうすると考えると、「今までの積み重ねの繰り返し？まだまだくたばってたまるか、まだまだ迷惑はかけないまだやりたいことが残っているさ」

そのころ、この本が本屋の棚に平積みされているのが目に入り購入し一気に読む。

著者は 80 歳を超えてもなお執筆活動を続ける元気な方である。よく知られた元NHKアナ。

語り口はもちろん端的な物言いですっきりして気持ちの良い方である。

ちょうどお正月でもあり気楽に読んでいただこうとテキストに推薦した次第。

◇高齢者（老人）にとって現在の日本はどうか（目次から引用）

- 「年寄りには田舎が好き」と決めつけるな。
- 高齢者の運転ミスばかり取り上げるな。
- 腹痛患者のお腹すら触らない医者
- 海が見えない程高い防潮堤に何の意味が？
- 一気にスカットする言葉が並びさらに
- 甘やかすのは子供のためにならない
- 親はひきこもりの子供を放り出せ
- 「子供が親の介護するのは当然」ではない。

と過保護社会を批判し教育問題を提起している。解決策を示すことなくマスコミ出身らしく批判し、また現在の社会全体として「年寄り（老人）の気持ち」認識不足を指摘し、この事を、表題の「老人をなめるな」にこめている。

◇高齢者に対しての励まし。

「老人には多くの良い点があり、年寄りは自信を持ち、舞台から去るのではなく、自分のステージを頑張ろう」と高齢者への忠告と激励をしている。

- ヘルパーの善意に甘えるな。
- 親は子供から与えられた喜びを思い出すべし
- デイサービスは介護する家族の息抜きが目的。
- おひとりさまを怖がる必要はない
- 年を取るとお金が大事
- 高齢者よ、街に出よ！
- 80 歳で引退するのはまだ早い！

◇おわりに

- ・「この本はもう二度と読みたくない」「標題に品がない」と辛口の感想もあった。これは推薦者にとっては誠に辛いですが、一方で「この本の対象である高齢者に近づきつつある者にとっては参考になった」との意見もあった。
- ・参加者が 15 名程と普段より大勢の方が集まった。また全員の発言をいただき推薦者としてはほろ苦くもあったが「新年互礼会」としての意味はあったように思う。 以上